



- ①大村海岸(前浜) ②宮之浜  
③製氷海岸④釣浜 ⑤境浦  
⑥扇浦 ⑦コペペ海岸 ⑧小港海岸

## ① 大村海岸(前浜)



### アクセス

ビジターセンター  
より徒歩1分

### 付帯施設

駐車場、シャワー、  
トイレ、更衣室、  
休憩舎、大神山公園

町から程近く、ビジターセンターのすぐ目の前に位置している。ビーチは砕けたサンゴと貝が多い白浜。海中は白砂とサンゴが点在しており、サンゴの周りに魚が集まっている。シャワー・トイレ・更衣室が完備されている他、休憩舎も多く、海岸の東側はウッドデッキになっているので、子供からお年寄りの方まで多くの人で賑わう海岸。毎年元旦には日本一早い海びらきが開催される。

## ② 宮之浜



### アクセス

ビジターセンター  
より徒歩 約30分

### 付帯施設

駐車場、トイレ、  
休憩舎

島の北側に位置し、正面には兄島が見える弓なりの美しい海岸。海岸の左右ではサンゴが発達しており、多くの魚が集まってくるので、ダイビングやシュノーケリングポイントとしても人気。伊豆諸島南部や小笠原諸島などのごく限られた地域に分布するユウゼン(日本固有種)とも出会える可能性が高い海岸。

⚠ 瀬戸は潮流が速く危険なため、黄色の旗より沖にはでないように。

## ③ 製氷海岸



### アクセス

村営バス:扇浦線3分  
(村役場前~奥村)  
+徒歩 6分

### 付帯施設

小笠原海洋センター

かつて製氷工場があったことから「製氷海岸」と呼ばれている。枝サンゴ(スギノキミドリイシ)が群生し、平成23年に海域公園に指定された。サンゴの上をロクセンスズメダイやチョウチョウウオ、時にはアオウミガメが泳いでいるのを見ることができる。枝サンゴはすぐ折れてしまう程弱いので、サンゴに触れたり上に乗ったりしないように。

## ④ 釣浜



### アクセス

村営バス:扇浦線2分  
(村役場前~清瀬交差点)  
+徒歩 20分

### 付帯施設

駐車場

釣浜へは標識に従って遊歩道を降りて行く。石ころの海岸で、波打ち際から広がるサンゴに、ユウゼンやロクセンスズメダイ、ナンヨウフグダイなど色鮮やかな魚たちが多く集まり、海域公園に指定されている。潮流が複雑で、水温の差も激しいため上級者向けの海岸。

⚠ 瀬戸は潮流が早く危険なため、浜辺から離れないこと。単独での遊泳は危険。

## ⑤ 境浦



### アクセス

村営バス:扇浦線6分  
(村役場前~境浦海岸)  
+徒歩 3分

### 付帯施設

駐車場、トイレ、  
休憩舎

太平洋戦争中に魚雷攻撃を受け座礁した「濱江丸」が沈んでいる。潮の流れも緩やかなので、初心者にも優しいシュノーケリングポイント。沈船の周りは漁礁になっている他、海岸の左右はサンゴが広がっているため、多くの魚を観察することができる。

## ⑥ 扇浦



### アクセス

村営バス:扇浦線9分  
(村役場前~扇浦海岸)  
+徒歩 1分

### 付帯施設

駐車場、シャワー、  
トイレ、休憩舎

二見湾を挟んで大村海岸の反対側にある扇浦は、シャワーやトイレも完備されている。潮の流れも緩やかなので、初心者にも優しいシュノーケリングポイント。特に要岩周辺は海中景観が美しく、多くの魚が集まり、時にアオウミガメも泳いでいる。

## ⑦ コペペ海岸



### アクセス

村営バス:扇浦海岸9分  
(村役場前~扇浦海岸)  
+徒歩 25分

### 付帯施設

駐車場、トイレ、  
休憩舎

諸説あるが、明治初期にこの海岸を生活の場としていたカナカ人(南太平洋諸国から移住してきた人々)のコペペという人物にちなんで名付けられたとされている。ゆったりとシュノーケリングを楽しめるポイントで、海に向かって左手に泳いでいくと、サンゴや枕状溶岩を観察しながら小港海岸に辿りつく。

## ⑧ 小港海岸



### アクセス

村営バス:扇浦線20分  
(村役場前~小港海岸)  
+徒歩 1分

### 付帯施設

駐車場、トイレ、  
休憩舎

ロータリー奥の入口から入るとハスノハグリの巨木が林立する海岸林が広がり、天然記念物であるオカヤドカリも数多く生息している。ビーチは白砂で、岩はほとんどなく、海水浴に適したビーチ。駐車場は園地手前の小港駐車場。ビーチまでは徒歩10分。



## 小笠原カントリーコード ～自然と共生するための10カ条～

- ①「貴重な小笠原を後世に引き継ぐ」  
貴重な動植物に恵まれた小笠原の豊かな自然や、その中で育まれた独自の文化を学び、これらが後世に引き継がれるよう大切にしましょう。
- ②「ゴミは絶対捨てずに、すべて持ち帰る」  
小笠原では日頃から島内美化に努めており、ゴミの持ち帰り運動を徹底しています。
- ③「歩道をはずれて歩かない」  
歩道からはずれると道に迷いやすいばかりでなく、植生を傷付けることにもなります。道に不慣れな場合は、地元のガイドと一緒に歩くようにしましょう。
- ④「動植物は採らない、持ち込まない、持ち帰らない」  
海中も含め、小笠原の生態系を構成する野生動植物の中には固有種も多く、中には繊細で傷付きやすく、すでに絶滅してしまったり、絶滅の危機に瀕している動植物が少なくありません。この貴重な生態系を保全するために、動植物は持ち込まず、持ち帰らず、見て楽しむだけにしましょう。
- ⑤「動植物に気配りをしながらウォッチングを楽しむ」  
小笠原ではホエールウォッチングやバードウォッチングなど、自然観察が盛んです。こうした楽しみ方がいつまでも続けられるよう、できる限り動植物に影響を与えないような見方や楽しみ方を心掛けましょう。
- ⑥「サンゴ礁等の特殊地形を壊さない」  
サンゴ礁や南島などの特殊地形は小笠原の自然の歴史にとって重要なものです。地形について学び、大切にしましょう。
- ⑦「来島記念などの落書きをしない」  
来島記念などの落書きは、小笠原の美しい景観を壊してしまいます。
- ⑧「全島キャンプ禁止となっているので、キャンプはしない」  
条例により、小笠原では全島でキャンプが禁止されています。自身の命や身体の安全はもとより、小笠原の美しい自然と静かな村民生活を守るためにも、宿泊施設を利用して下さい。
- ⑨「移動は、できるだけ自分のエネルギーを使う」  
出来るだけ徒歩や自転車での移動を心掛け、のんびりと小笠原を楽しみましょう。
- ⑩「水を大切にし、トイレなど公共施設をきれいに使う」  
小笠原では水は大変貴重な資源です。無駄使いせず、大切に使いましょう。

小笠原 シュノーケリングポイントMAP【父島】  
編集・発行：小笠原ビジターセンター 2023年10月  
(指定管理者:公益財団法人 東京都公園協会)

## よく見られる魚たち



ユウゼン



ロクセンスズメダイ



キイロハギ



タテジマキンチャクダイ



ツノダシ



トゲチョウチョウウオ



ナンヨウブダイ



イトヒキブダイ



カンモンハタ



ネムリブカ

## 小笠原【父島】 シュノーケリング ポイントMAP



### シュノーケリングの注意事項

- ①安全のため、2人以上で泳ぎましょう。
- ②体調が悪い時は無理せず、泳ぐのは控えましょう。
- ③岩やサンゴで怪我をしないよう、マリングローブやブーツを用意しましょう。
- ④むやみに海の生き物に触れないようにしましょう。
- ⑤波やうねり、潮の流れに注意し、沖に出すぎないようにしましょう。
- ⑥紫外線が非常に強いので、日焼け止め対策を必ずしましょう。
- ⑦海で泳ぐ時は、宿泊先の人に行き先と帰宅時間を伝え、緊急時の連絡方法を確認しましょう。

### もしもの時は・・・⚠

救急・遭難等の場合は119  
(海難事故の場合は118)

下記の内容を落ち着いて正確に伝えてください。

- ①現在の患者の状況(できるだけ詳しく)
- ②氏名、年齢、宿泊先
- ③現在地
- ④折り返し連絡できる電話番号